



かわら版



2022年12月 NO.12

合同会社IアンドS

福岡市中央区大名2-10-1 A1208

TEL092-791-1498 Fax092-791-1641

受け継がれる伝統

【太宰府天満宮 大規模改修】

学問の神様で知られる、太宰府天満宮（太宰府市）の本殿の大規模改修工事が、来年5月から始まります。

国の重要文化財に指定されている本殿の大規模改修は、祭神・菅原道真公の没後1125年に当たる27年の式年大祭に向けた事業で、124年ぶりです。改修に伴い、本殿前に建設される仮殿は、来年5月に完成予定です。来年1月にかけての年末年始の参拝は、通常通り本殿で受け付けられます。



【首里城再建へ】

首里城（那覇市）の正殿などが全焼した火災から10月31日で3年になりました。

琉球王国の時代から、首里城の造営・修復に使われる木材を「御材木」として運ぶ「木曳式」が、また、神木などの建築用木材を大勢で運ぶ「木遣（きやり）行列」が行われてきました。

今回の再建で正殿の材として使われる「オキナワウラジロガシ」を那覇まで運ぶ「木曳式」が10月29日に、「木遣（きやり）行列」が11月3日に行われました。

正殿復元工事の無事を祈り、指笛の響く中、首里城内へと御材木が奉納されました。



【五百羅漢図 大修理終了】

東福寺（京都市）の重要文化財「五百羅漢図」が、約300年ぶりとなる大規模修理を終え、記念の奉告法要が営まれました。

担ったのは「国宝修理装演師（そうこうし）連盟」の四工房の総勢約70人の技術者。今回、用いる技術、材料、色、記録方法まで四者で統一し、技術者同士がよく話し合っ作業を進めた結果、仕上がりの風合いがぴたっとそろい、どの工房が担ったのか見分けがつかない仕上がりになりました。

かつては『秘伝がある』とよその工房に出入りするなど考えられませんでした。各工房のカラーを超えたチームワークで、絵画分野で次の世代へのノウハウがで、画期的な修理例になったと評されています。



古巣に戻る

【毒蛇コブラご帰宅】

スウェーデンの水族館で10月22日に、猛毒のキングコブラが逃げ出しました。

キングコブラの体長は約2メートル。

一時は来館者の避難や、水族館が一時閉鎖されるなど、騒ぎとなりましたが、10月30日の早朝、元の飼育されていた部屋に無事“帰宅”していたことが分かりました。



礼儀正しく

【世界に発信「アタリマエ」】

サッカーのワールドカップで、

日本代表や、日本人サポーターの振る舞いが注目されています。

日本代表が「ぴかぴか」にした試合後のロッカールームの画像を、国際サッカー連盟が公式ツイッターで公表しました。

一方、試合後にスタジアムのゴミ拾いをするのは「当たり前」と話す日本人サポーターの映像がTikTokに投稿されました。

海外メディアもこの映像に注目し、スタジアムを掃除する理由について「Atarimae (アタリマエ)」と英字表記し、日本人サポーターや日本代表を称賛しました。



臨場感ある球場を目指して

【日本ハム新本拠地 規格外】

2023年に開業するプロ野球・日本ハムの新球場「エスコンフィールド北海道」について、ファウルゾーンの一部が規定を満たさず狭くなっていることが判明しました。

客席とグラウンドの距離が近く、多くの人に臨場感を感じてもらえるように作られたもので、工事の進捗率も95%を超え、既に天然芝も引かれた状態での判明でした。

日本ハムは非を認めて謝罪し、2023年オフから、2年がかりで改修工事を行うことでも了承されました。

来季はファウルゾーンが狭いまの公式戦の実施となります。

期間限定ではありますが、より臨場感のある新球場に足を運ばれてはいかがでしょうか。



イマドキの結婚事情

【アプリ結婚5人に1人】

いい夫婦の日にちなんだアンケートの、「出会いのきっかけ」の質問に、22.6%の人が「マッチングアプリ」と回答、首位になりました。

コロナ禍でリアルな出会いの減少も要因のようで、新たな出会いの形として定着しそうです。

